



## 『三誠セミナー』レポート

構造物と地震に関する問題をテーマに、第1回『三誠セミナー』を開催しました。

セミナー内容：

「構造設計と耐震安全性—構造安全の社会的合意に向けて—」

講師：東京大学 新領域創成科学研究所 神田 順 教授

記念すべき第1回は、建築基本

地盤工学や構造物に関する

最新情報などを建築構造設計

に携わる皆さまと共に有しより

安全で安心して生活できる

建築を共に目指そうと、定期的に

セミナーを開催することに

いたしました。

2010年7月に行われた

セミナーにて、

建築を共に目指そうと、定期的に

セミナーを開催することに

いたしました。



位置や速度を調節するだけ。  
ぶれずに回りながら溶接します。



均一で美しい溶接跡。

## 三誠の高い開発力が生んだ新商品第1弾②

現場溶接の諸問題が一挙に解決。常に安定した高品質溶接を実現させる。

特許出願中

自動溶接口ボット ECS-AW(Auto Welding)工法

諸々の問題を抱え、  
安定した作業が難しい現場溶接。

そこでこれらの問題解決の  
ために、プラスアルファの価値

ある高品質な商品を提供する

作業環境の足元の悪さや溶接

バラつきが問題となつていて

施工現場での溶接作業。さらに

近年は慢性的に熟練溶接工が

不足しているという問題もあり、

人材の確保も課題となつてい

ました。  
ました。

正確で高品質、かつスピーディな  
現場溶接が可能に。

口ボットをセッティングし、位置  
決定をしてボタンを操作する

だけで、左下写真のような高品  
質溶接を、正確かつスピーディに

「自動溶接口ボット」の特徴は、  
作業環境や溶接工の技量差等に  
ことをモットーにしている三誠

が開発したのが、小口径杭対応  
の「自動溶接口ボット」です。

今までの鋼管杭の施工性と、  
強度の高い高品質な杭を現場

で溶接することができます。

今までの鋼管杭の施工性と、  
強度の高い高品質な杭を現場

で溶接することができます。

今までの鋼管杭の施工性と、  
強度の高い高品質な杭を現場

で溶接することができます。

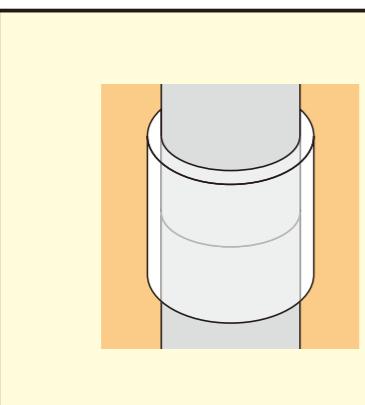
今までの鋼管杭の施工性と、  
強度の高い高品質な杭を現場

で溶接することができます。

COMING SOON

小口径の鋼管杭に  
新たなご提案。  
無溶接継手工法

従来、鋼管杭の縫手は溶接で  
行つていましたが、このたび縫手  
にリングを使用した「無溶接継  
手工法」を小口径で初めて開発。  
溶接と同程度の強度を持ち、  
さらに溶接作業で懸念される  
天候や火気厳禁場所での作業制限  
も問題にならない革新的な工法  
です。来夏より販売予定です。



このページの商品の  
お問い合わせは

(株)三誠 技術部 担当: 春藤  
TEL: 03-3639-5226 e-mail: info@sansei-inc.co.jp

耐震性の向上と、短工期・低コストを  
両立させた画期的な工法を開発。

特許出願中 ECS-DP (Double Pipe) 工法

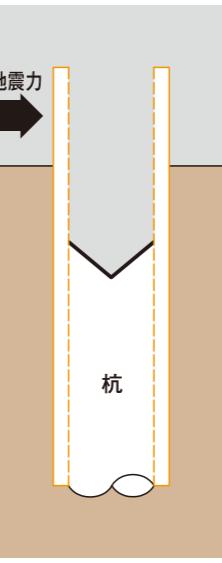
新年早々販売開始

常に小口径杭の  
品質向上を目指す  
三誠の新工法。

水平抵抗力を強化し、  
耐震性の向上を図るために  
開発されたのが、ECS-DP  
(ダブル・パイプ工法)。杭頭  
部分の鋼管杭を二重に  
覆い、内側と外側の钢管杭  
の間隙に無収縮グラウト  
を充填することで、水平  
抵抗力を大幅に向上させ  
ました。通常より少ない杭数  
でも同等の水平抵抗力を  
得られるため、N値の大きな  
支持地盤において、支持力  
をフルに活用できます。

施工期間の短縮、コストの  
削減にもつながります。  
水平力の大きな6階以上  
の高層建築物にも対応  
可能。新年早々の販売開始  
を予定しております。

従来工法の杭頭部



強化の一例  
※弊社試設計による

杭22本  
(φ216.3mm×厚さ12.7mm)  
材質 STK490

II  
杭14本  
(φ216.3mm×厚さ12.7mm)  
+  
(φ267.4mm×厚さ8.0mm)  
材質 STK490

